

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん こんにちは。12番 赤嶺奈津江です。一般質問最終日、ラストになりますので、よろしくお願いします。質問に入ります前に、新型コロナウイルスで亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。また、医療関係者をはじめ、国民生活を支えるため頑張ってくださいている多くの方々に感謝申し上げます。そして、町職員におかれましても、経験したことのないような状況の中で業務を滞りなく執行するため様々な取組、また特別定額給付金の早期給付に向け、最大限の尽力に感謝いたします。まだまだ世界的に収束を迎えていない新型コロナウイルス感染症です。第2波、第3波が予想されておりますので、現段階でどのような対策を考えているか、最初に伺っていきたくと思っています。それでは一般質問に入らせていただきます。最初に一括で質問した後、再質問から一問一答でお願いいたします。

1. 新型コロナウイルス対策について問う。(1) 新型コロナウイルスの影響により、経済活動に大きな影響が出ている。本町における法人関連の税収に影響が出てくると思われる。町財政運営にも影響が出てくると考えるが、今後の財政運営をどのように考えているか。(2) 今回の新型コロナウイルス対策で、南風原町地域防災計画の中で見直し、修正予定はあるか。(3) 北海道や北九州市などでは既に第2波が来ている。今後、県内でも第2波、第3波が予想されているが、学校休校時に向けた学習体制を早急に整えるべきと考える。オンライン授業の導入に向け、環境整備も含め、取り組むべきだと考えるが本町としての見解を伺う。

2. コロナウイルス対策等でオンライン医療相談活用を。(1) 9月末まで無料相談できる国の補助事業を活用した「遠隔医療相談事業」のサービス等がある。今後の国保医療費やこども医療費の抑制にもつながると思う。導入を検討してはどうか。

3. 町道の維持管理及び再整備計画について。(1) 近年、ゲリラ豪雨などの集中豪雨で道路の冠水が見られる。住宅地の整備などで、表面水の増加による影響も大きいと考える。そこで、雨水排水路の維持管理(管内掃除等)も含め、再整備計画の状況はどうなっているか。(2) 雨天時、排水溝の蓋やグレーチングが外れたりして危険な箇所はないか。以上、お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の新型コロナウイルス対策について問う。(1) についてお答えします。これまで堅調であった税収に影響が出ますと、より厳しい財政運営になることが想定されますが、町民福祉サービス等の低下を招かないよう、最優先事業から予算配分を行っていきます。また、今後の地域活性につながる事業については、国・県の補助や交付金などを活用しながら実施できるよう、検討をまいります。

(2) についてお答えします。新型コロナウイルス対策における課題や問題点から、今後計画の見直しや修正を検討をまいります。

質問事項2点目のコロナウイルス対策等でオンライン医療相談活用についてお答えします。先進事例等、調査研究をして検討をまいります。

質問事項3点目の町道の維持管理及び再整備計画について、(1)についてお答えします。雨水排水路の維持管理については、地域の協力による清掃とパトロール等により状況を把握し、堆積物等の除去作業を実施しております。再整備につきましては、対策の必要な箇所について検討してまいります。

(2)についてお答えします。台風、豪雨時における道路施設については、状況把握のためパトロールを適宜行っています。町道排水溝の蓋やグレーチングの外れがある箇所は、適宜修繕しております。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1点目の(3)についてお答えいたします。GIGAスクールの交付金を活用して、将来の1人1台PC端末整備に向けて取り組んでまいります。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。それでは、再質問させていただきたいと思えます。1の(1)ですが、町財政運営のほうにも、これから税収等が減ってきたり、影響が出てくると。大変なことになるという見解であります。法人だけではなく、実質は個人の税収からも影響が出てくるとも考えられますので、今後どのような方策を打っていけるのか。また、事業等も精査して、今でも取捨選択ではないですが、やらなければいけないこと、優先事項から先にといいことでやっていますが、実際やるべきこととしてやってきたこともできなくなる可能性も出てきます。その中で国の補助事業とか、コロナの影響ということで見送ってきた事業も含め、新しく補助メニューが出てきたりとか、そういう可能性もないとは言えないと思うんです。今の状況から言えば、町の運営の中で新しい事業メニューが出てきたり、そういうときにはやはりやるべきこと、また、できることを少しずつでも進めていってほしいと思えます。今回、二次補正が国のほうでも決まって、今後、こちらのほうからも要望等が出てくると思いますが、実際、1回目の要望を出してもちょっと見送ったものもあったと思うんですが、再度出すものとして、またプラスして事業を検討していると思えますけれども、事業所とか、個人へのもの以外に町独自でも使えるメニューといいですか、これまでやっていた事業に充てられるものも出てくるのかどうか、その指針とかが分かれば、教えていただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それでは、お答えいたします。現在、国の二次補正予算において、地域再生臨時交付金の2兆円の予算が確定しました。それに向けて、我々は交付額とかを待っているところでありますが、まだ情報がない状況であります。しかし、各課には、全部署において事業計画を立てるようということで、企画財政課を通して準備をしているところです。この交付金については、新型コロナウイルス感染症防止対策、その後の経済対策ということを重点に、喫緊の課題について対応していきたいと考えています。ただ、

これまでやっていた事業、是非やらないといけない事業があれば充当は可能ですが、できるだけ従来やっているものに充てるのは、その後ということで、コロナウイルス感染症に及ぼす地域経済、住民生活の対応を最優先に活用してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、優先事項ということが出てくると思います。(2) つながるんですが、地域防災計画の中で、現在は地震があったときとか、台風時とか、その中において感染症の対策というふうになっているんですけども、逆に感染症が今みたいに主となったときに台風が来たと。そういうときにどのような対策を取るのか。そういうところも研究しないといけないわけですし、そういうところにまた物品の配置とか、新たなものが出てくると思うんです。仕切りだったり、個人のプライベートを守るための、海外とか、県外でもありますが、テントだったりいろんなものがあると思うんですけども、そういうところも見直しとか、従来もともとあったものを再度検討して、この中に入れていこうという部分になってくると思うんです。今後、南風原町だけではなくて、沖縄県は台風の時期に入ってきていますし、早めにやらないといけないことだと思うんですが、今、学校が避難所として決められていますよね。一時も広域も収容もということでやっていますが、収容場所として学校の中のどこを考えて、どういう物品を配置しているのか聞きたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 学校等、町内には13か所の収容避難所があります。そちらにおいては、特に各自治会とか、ちむぐくる館には備蓄品を用意していますが、学校にはまだ置いている状況ではありません。しかし、これから避難所となる場合は、また計画的に備蓄品等を検討していきたいと思いますが、ただ学校となると場所、置くのは一義的に教育環境のものに限定しますので、それについてもどんな手だてがあるか検討をしていきたいと考えております。ただ、奈津江議員がおっしゃるように、もう台風時期に入ります。ですから防災計画の見直しはやっていきますが、見直しの前に実際、台風の来襲によって避難が生じることがありますので、内部のマニュアルは早急に整備して、どう対応していくべきか検討して、早急にその災害、台風時に備えるように準備してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん すみません、休憩で。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩 (午後 1 時10分)

再開（午後1時10分）

○議長 知念富信君 再開します。  
総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それは災害の規模によって、まずは体育館。しかし、大きくなったり、コロナウイルス感染症対策を取るために個別となった場合は教室とか、学校全体として、その災害に応じて確保していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、夏場に入ってきて、今、多分体育館がメインということでおっしゃっていましたが、体育館はクーラーもなければ、日々生活する中でも子供たちは暑い中でやっていて、窓を全開にしても暑いぐらいですから、最初から教室を前提に動いたほうが私はいいと思っています。この防災計画の中で感染症があった場合ということで話はしていますけれども、教室はせっかく空調も揃っていますし、教室であれば4つに仕切ったりとか、家庭ごと、具合が悪い人ごと、いろんなパターンで設定できると思うんです。1か所、一棟区切るとか、いろいろやり方はできると思うので、そういう方向で考えてほしいんですけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 これは災害に応じて対応していきたいと思います。通常によくある台風において教室をやってしまいますと、すぐ台風が去って授業が始まりますので、それが可能かどうかもありますので、災害の内容によって、どこを使うのが最優先か検証していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。体育館ではなくて多目的ホールみたいなところとか、教室でもいろいろありますよね。授業で使う1組、2組とか、そのクラス単位の教室ではなくても音楽室だったり、あそこであれば防音もありますし、いろんなパターンが考えられますので、できるだけ私は空調が整備されているところを前提に、急に暑くなって熱中症になったら元も子もないですし、医療にかかろうと思っても、台風の中、なかなか行けないですよね。いろんな災害の中では消防もかなり多忙の中で、せっかく避難した場所からまた救急搬送ということも大変だと思いますので、是非それは検討の中に入れていただきたいと思います。また、せっかく子供たちは訓練をやる機会もありますし、こういうときにはこういう活動ができるとか、行動ができるとか、そういう考える場所にもなると思うんですね、避難訓練の場所は。学校に避難した場合にはこういうことができるとか、自分たちの役割はこういうこともできるとか、検証もできると思うんです。です

ので、ただ逃げるだけとか。火災時に学校から逃げるではなくて、学校に避難したときに、学校で自分たちができることを考える機会にもなると思いますので、そういうことも含めて検討してほしいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 避難する場合は、避難するだけでストレスがかかります。快適とは言えませんが、よりストレスがかからない避難場所を構築していきたいと考えています。また、防災訓練とか、その準備については、あらゆることを想定して対応していきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。県外では高校生とか、そういう子たちを中心に避難場所で一泊するというので、ご飯をつくる。眠る場所を確保する。お年寄りとか高齢者にどう接するかというところまで検証したことをニュースで見たとあります。以前にも議会でも話をしたんですが、そういうことも含めて、ただ避難するだけでは生活はできないので、そういうときにどういう行動が必要になるかということも、やはり検証しないとイケませんので、自助・共助・公助、それぞれ役割分担があるということと前からおっしゃっていますように、それぞれを考える場所として提供していくと。それも計画に入れていくというふうにやっていただきたいと、こちらのほうは要望したいと思えます。

(3) オンライン授業の導入ということで、1人1台PCということですが、自宅にいるときの環境確認ということで、高校生のほうは、うちの子の学校だけなのかは分からないんですが、Wi-Fiの状況、インターネットの接続状況とか、そういうのも全部確認がありました。小中学校のほうでもそれをやって、電波がどうなのか。その契約状況とか、ある程度保護者に確認をとらないと、パソコンを渡したり、タブレットを渡してもつなげられないとか、そういうことがあったら意味ないと思うんです。そういうところの確認をやっているのか、今後やる予定があるのかお伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今回の休業を受けまして、教育委員会のほうでも学校を通して、インターネット環境について調査を行って、今アンケートを収集して集計しているところでございます。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今、情報収集中ということですが、もしインターネットの環境等、接続できないとか、実際、うちの自宅のほうも今つな

いではいますが、普通の電話の電波とか、ネットの電波が入りづらいんですね。そういうところからすれば渡されても、今は自宅にあるからいいですけども、もしなければなかなか接続できないとか、接続している途中で切れるとか、いろんなことが考えられるので、できるだけそういうハード面の整備も今後視野に入れていかないといけないのかなと思いますが、パソコン、タブレットを渡すだけではなくて、そこまで考えているかどうかお伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 今、環境については調査を行っているところでありますが、その結果の内容等を見ながら、またどのような補助金があるかということを確認して、検討してまいりたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、県のほうが全県にW i - F iということで、現知事がおっしゃっていたようにやる予定でいらっしゃると思いますので、これはまた県に要望することとしてもやっていただきたい。町だけ独自でやったら、また予算のかかることですし、県がやると言っていた部分でもありますし、各地域で教育格差が生まれてもいけませんし、情報格差が生まれてもいけないという前提であれば、やはり単独で町が動くのではなくて、近隣市町村も含め、要望をしていくべきだと思いますけれども、そういう点では近隣市町村連携してやっていけるのか、意見交換も含め、どのように考えていますでしょうか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 そういう機会があれば、是非近隣市町村とも話合いをして、そういう機会を生かしていきたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、島尻では島尻で教科書を決めて、高校受験のときにはその科目が出てくるという前提で動いていますし、その時期に勉強のできない学校があっては教育格差で不利益を被る子供たちが生まれるわけですから、そういうところでは情報交換をする。島尻教育事務所を通してでも、是非意見交換をしていただきたいと思います。また、タブレット等についても早期にやらないと、いつ第2波、第3波が来るかも分からないですし、それ以外の感染症だったり、外出できない環境とかが生まれてこないわけではないと思いますし、以前にもSARSが流行ったときのこともありますので、何年かに一回、こういうことが起こり得ると考えれば、これが早いのか遅いのか分からない状況ですので、早期に対応していただきたいと思います。

大きい1番は終わりました、次に2番目のほうに行きたいと思います。今回、質問をする前に民生部のほうには資料を提供して、医療相談アプリの情報を提供しましたが、先進事例を調査検討していきますというのですが、実際、この事業が9月末までしか無料ではないということもあって、なかなか難しいとは思っているんですけども、医療費抑制だったり、子育て世代からすれば、夜中からの発熱とか、病院の情報とか、ただ、電話するよりも行ったほうがいいのかと悩むときに、そういう相談アプリがあるとかなり役立つと思うんですが、実際、町として医療系のアプリ、それ以外の子育てとかについてもですが、どのようにお考えなのか。検討をしているとか、うちには必要ないと思っているのか、必要と思っているのか。どのような検討をしているのか、お伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。まず、議員御提案のありました遠隔医療相談に関しましては、議員おっしゃいますように、我々も近年のICT技術等の発展で、そういう技術を活用しての遠隔医療も含めて、相談も含めて取り組んでいく必要があるというふうな認識でございます。以前からも医療の相談も含めて、また子育ての支援も含めて、いろんな悩みを抱えていて、おっしゃいますように夜中の急な発熱とか、どこに相談したらいいのかとか、そういうときにすぐ気軽にアプリを活用しての相談というのは、やはり今の時代必要だなということを、我々も検討していかなければいけないというのは以前から申し上げているところでございます。全体的に子育ての支援も含めて、そういうICT技術を活用した町民の方の相談、健康相談等をやりやすくする環境を整えていきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、茨城県のほうが全県下で導入して活用しているということで、環境が違うということも聞いてはいるんですが、やはり相談相手がお医者さんというだけでも判断しやすい。実際、私は有料のアプリを一度使用したことがあったんですが、相談1回に3,000円取られて、それで結局また病院に行って、結構お金がかかったというイメージがあるものですから、そういう個人で相談ではなくて、自治体に相談窓口があると助かるなと思っています。実際、電話での相談もあるんですが、耳が聞こえない難聴の方もいらっしゃいますし、そういう方からすれば相談しにくいんですね。なので、文字で打って相談して、すぐ返ってくるという環境が大事だと思っています。その中で、特に子育て中の方はなかなか相談できませんし、また高齢の方も相談できないということもありますので、勇議員からも先ほどあったんですが、耳が遠い高齢者の方が夜から電話をするかという、やはりやらないと思うんですね。そういう方々については、やはり医療系の相談とか、なかなか今、アプリを使ってというのは難しいかもしれないんですけども、私たちもどんどん高齢化していきますので、その中でアプリも使えますし、そういう方も増えてくる中では、早期に導入していただきたいと思いますが、今後どのような調査とか、どのように動いていくという方針がある程度決まっているのであ

れば、教えていただきたいと思います。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えいたします。以前にもご質問をお受けした、例えば子育て支援のアプリとか、そういうものの内容とかもこれまで検討してまいりました。そういう状況の中で、やはり財政的な部分の課題とかもありまして、補助メニューとかがないかとか、そういう部分で検討をしてはおります。議員おっしゃいますように、聴覚に少し障害あるとか、そういう場合においては電話という部分では厳しいですので、こういうアプリを活用して文字で相談できるというのは大変有効だと思いますので、こういう部分も含めて検討していきたいと。沖縄県においては、#8000という小児救急の電話での相談という部分が、今まで時間が少し短い部分があったんですが、今、土日祝祭日等においては24時間相談ができるような体制にもなってきています。我々としては、この部分をもっともっと広報をして、この#8000の活用という部分はやっていきたいと。そういう周知もしながら、議員がおっしゃっているような遠隔の健康相談、医療相談等が南風原町で早く整備できるような形で、特に今回のコロナの感染症対策においては、こういう部分の必要性を感じておりますので、しっかり調査研究して取り組んでいきたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。是非相談しやすい環境整備を早期にお願いしたいと思います。早期に整備されるものと期待して、この質問は終わりたいと思います。

3番目ですが、以前から雨水排水路の維持管理ということをお願いしたりという部分もあって、ちょうど3号線のほうも改善していただいた経緯もあるんですけども、実際、宅地の開発とか、表面水が増えて冠水してしまう道路とかも出てきているんです。その中では維持管理、掃除も含めということではあるんですが、(2)ともつながるんですが、町民の方から大雨のときに連絡が来て、グレーチングが浮いて、ありはするんですよ。多分留め金か何かが外れて浮いて、勢いで押されて結構危ないというようなことがあったり、そういうことがあるものですから、先ほどからLINEとか、そういう情報のやりとりも必要ではないかということで、大志議員からもあったりするんですが、町民からその画像を送ってもらうとか、そういうところで確認。全部を巡視するのはかなり厳しいと思うんです、大雨のときに全部を回ると。1カ所悪いところがあったら、そこに集中して、どこがどうなっているかという確認になってしまうので、そういうところで多分、今の状況では、先ほど確認した一方通行でしかできないということがあったので。返信はしなくても動画を送ってもらう、画像を送ってもらう。そうすれば町道のどこが悪いのか、町民から情報を得やすいと思うんですね。わざわざ電話が来るわけでもないですし、後日の確認で、「ああ、こうだったんだな」ということもできますし。特に土日の夜中とか、大雨が降ってもすぐには動けないですね。そういうところでそういう活用も必要ではないかと思うものですから、再整備の状況については、多分、確認できているところしかやらないはず

なので、なかなか口に出して言わない町民の方もいますし、目に入らないと確認できないところもあるので、そういうところでの活用もすべきだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 こちらのほうは、南風原町の公式LINEへの情報提供というご質問だと思いますので、私のほうでお答えします。

現在、町からの一方的な発信にとどまっておりますが、今後は改修を進めて、町民からの情報提供。今あった災害時の夜中の写真を送ってもらうとか、情報があれば、また対応も早くなりますので、そういうLINEの活用にも改修してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。私も実際、雨が降って、大雨の中、外に出られない状況の中では確認にも行けないわけです。車が入れない状況もありますし、冠水していると。そういうときには写真を送ってもらって、そういうことで確認したりもするんですけども、やはり直接町が把握して、どこを整備しないといけないとか、ちょっとまずいというのが分かればいいなということでの提案です。実際、グレーチングが浮いているという話を持ってこられた方は中部出身の方なんですけど、小学校時に排水から同級生が海まで流されたという事件があって、生命に関わったかどうかまでは確認していませんけど、そういうこともあったと。特に宮平とか、目の前は川です。小さい子だと何があるか分からないと。絶対にないとは言えないのが事件・事故ですから、そういうことも含めれば、そういう情報提供は必要だと思いますので、是非そういうところから情報を収集して改善、また再整備をやっていただきたいと思います。もう前向きな答弁をいただいていますので、これで終わりたいと思いますが、是非早期の改善をお願いしたいと思います。以上です。